

山火事

4月15日～5月30日

防止運動

春は、空気が乾燥し、強い風が吹くことが多く山火事が最も多く発生しやすい季節です。このため4月15日から5月30日まで山火事防止運動が展開されます。これから山菜とりや行楽などで入山される方は、次のことを守り山火事防止に努めましょう。

- ・たき火やタバコの吸いながら、マッチは必ず完全に消すこと
- ・車からタバコの吸いながらを投げ捨てないこと
- ・風の強いときや異常乾燥時、火災警報発令中は、くず焼きやたき火をしないこと
- ・くず焼きや山林原野に火入れするときは、必ず許可を受けること
- ・くず焼きやたき火をするときは、消火の準備をし、後始末を完全にすること

※山火事を発見したときは、消火に協力するとともに消防署に連絡してください。

消防署 ☎119



▲ 絵・田村純一さん (芦田子)

大館のむがしっこ

— 文・河田竹治さん —

きつねのしゅうねん

大館には古くから言い伝えられている伝説や民話が、数多くあります。この中から長木小学校教諭河田竹治さんが、市内各地で聞き集めた民話を今回からシリーズで紹介いたします。

その昔、今の常盤木町一帯にキツネが出没し、この辺の家畜を襲っては殺して食べていた。

そこで町の人たちはマタオ二(猟師)に頼んでそのキツネを鉄砲で撃ってもらった。

キツネは足を撃たれて血を流しながら、今の谷地町にある高橋家の小屋の中に逃げ隠れた。

高橋家のご主人は、このキツネの引き渡しを拒んでいたが、町の人たちは警察に頼みこのキツネを渡してもらい殺してしまった。

そのキツネは小屋からかつかれていった時、白いタスキをかけた年とったキツネであったという。

ところが、それ以来この屋敷一帯に不思議なことが続いて起きた首つり、火事、そして汁鍋をかぶって大やけどと、不幸なできごとが後を絶たなくなったのだ。

そこで町の人たちは十文字に、住む有名はミヨウトクさん(祈と

う師)を呼び、拜んでもらうことにした。ミヨウトクさんが言うことには「屋敷内で殺されたキツネはま、このある立派なキツネだが、誰も祭ってくれないのでこうして危害を与えているのだ」ということである。

そしてそのキツネは「自分は土三尺、周囲は自分の住み家である」と言ったそうなの。

そんなことがあってから人々は毎月二十二日(キツネの命日)には大きなどんぶりに水をいっぱい入れ、そのキツネを祭る祠に供え供養した。以来、この不幸なできごとはバツリと途絶えた。

現在、祠は昔あった位置から少し前に移動しているが、今も高橋家ではその稲荷様を祭り命日には供養しているそうである。

かつて高橋家に使われていたという沢村さんというおばあさんは毎日キツネの住んでいる野バラのある木の穴にゴノゴノ(名前)と言って食べ物を与えていた。すると、食べ物はずいぶんなくなっていたという話である。

〈明治時代の話〉

大館さくらまつり

4月27日～5月5日

＜プログラム＞

- 4月28日(木)
 - 17時30分・歌謡ショー (桂城公園)
- 4月29日(金)
 - 9時・秋田三鶏展 (中央公民館)
 - 12時・第31回山田記念ロードレース (陸上競技場～大町～二丁目～陸上競技場)
 - 13時・郷土芸能公演 (桂城公園)
 - 15時・素人カラオケ大会 (ク)
 - 15時30分・ビール、サイダー早飲み大会 (ク)
 - 17時30分・歌謡ショー (ク)

- 4月30日(土)
 - 13時・観光コンパニオン選考会 (秋北ホテル)
 - 17時・津軽三味線 (桂城公園)
- 5月1日(日)
 - 10時・第54回大館地区メーデー
 - 11時・杉田尚美フォトコンサート (桂城公園)
 - 13時・市民観桜会 (市民体育館)
 - 14時・杉田尚美撮影会 (桂城公園)
 - 17時30分・歌謡ショー (ク)
- 5月2日(月)
 - 17時30分・歌謡ショー (ク)

- 5月3日(火)
 - 9時・秋田犬展覧会 (桂城公園)
 - ・全県高校選抜柔道大会 (市民体育館)
 - 13時・猿倉人形芝居 (桂城公園)
 - 17時・ロックコンサート (ク)
 - 5月4日(水)
 - 17時・ロックコンサート (ク)
 - 5月5日(木)
 - 11時・チビっ子イベント (ク)
- ※その他、桂城公園でミニSL、フェアネスシー(5月3日～5日)、自動車ショー、環境美術展、植木市など